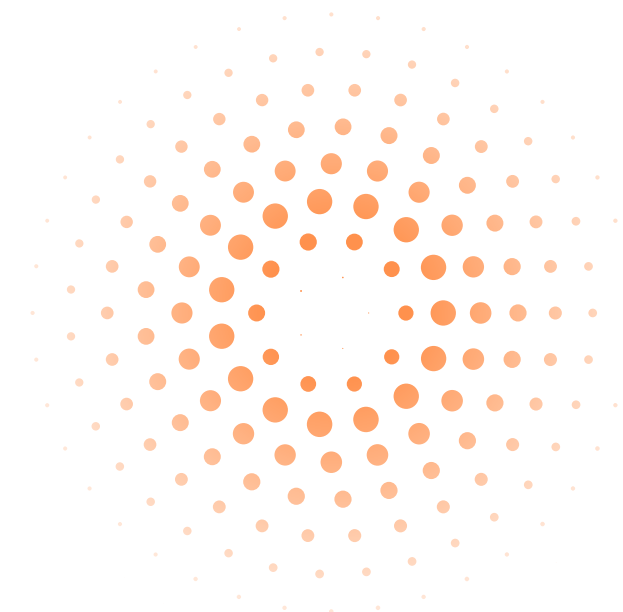




— 立命館大学

2025年春セメスター 国内交換留学

体験談・先輩学生からのアドバイス

留学での成果：達成できたこと

- ・大講義以外の授業(グループワークのある授業や英語開講の授業)も履修したことで、日本人学生や国際生とも仲を深めることができた。また、昼休みや授業外に開催されていたイベントや参加したことで経営学部以外の人たちとも交流を深めることができた。さらに、私が興味のある分野を研究されている先生の研究室を訪ねたことによって一緒にお茶をするほど仲を深めることができた。それにより、多様な見方や多角的な視点をより培うことができた。
- ・大学院入試に向けての準備ができた。
- ・より専門的な学び(幅広い授業、先生との交流、ゼミへの参加など)
- ・就職活動を早い段階でスタートすることができた。大阪では定期的に就活イベントが開催されていたため、積極的に参加した。このようなイベントで知った企業や情報からインターンシップに申し込み、参加することができた。
- ・多くの人と交流することができた。
- ・台湾で開催された学会に応募・参加(国際的な学術経験) SEASAT YOUTH CAMP 2025
- ・社会福祉法人洛西福祉会でインターンシップ
- ・福祉の現場に触れ、学びを社会へ還元する経験
- ・新たな環境に身を置くことにより、適応能力が高まったと感じている。
また、京都にはAPU近辺と比べ大学が多いこともあり、様々な大学のサークルやインカレに参加することが可能であるため、多くの属性の人と関わることができた。様々な方とコミュニケーションをとる上で、自分から話しかけに行く姿勢と、話を広げるための知識の幅広さが重要であることを感じた。



留学での成果：達成できたこと

★産業社会学部

- ・様々な分野学習：まちづくり、福祉などの幅広い分野有り。
- ・ゼミの活動：永橋ゼミ所属（月五限）、長野県飯田市FS参加、岐阜県時山祭FW参加
- ・新たな出会い：授業やゼミを通しての新しい人との交流、国際寮での交流（常盤）

★国際関係学部

- ・日本外交論や国際関係学、欧米政治学など興味のある分野を学ぶことができた。
- ・APMの授業とも関わりのあるような授業を履修でき、多くの学びがあった。

★経営学部

- ・留学前から取りたかった授業を履修することができた（国際経営戦略論や国際経営論など自身が学びたかったグローバルなビジネス環境に与える課題・戦略や文化が企業に与える影響を学ぶことができた。）



大変だったこと・達成できなかったこと

- ・課外活動への参加(サークル、イベントなど)
- ・勉強方法:成績がほとんど試験形式(グループ活動ほぼなし)
- ・立命館大学での1セメスター間はとても有意義なもので、どの講義もとても興味深いものだった。
1セメスター間の後悔はないが、せっかくの機会だったのでAPUで認定される単位数以上の授業数を履修していたら、更なる経験を積むこともできていたかなという思いもある。
- ・ボランティア活動に沢山参加できなかったこと。立命館大学にある「サービス・ラーニングセンター」に行き、いくつかの活動を紹介してもらった。しかし、紹介してもらったもの全てには参加することができなかったため、それが少し残念だった。また、海外のボランティア活動も紹介してもらったが満員で参加できなかったため、春休みにもう一度挑戦してみたい。



留学へのアドバイス（履修登録・学習編）

・人気科目は早めにチェック(登録競争あり)抽選科目は取りづらい印象を受けました。

・履修科目は、自分の興味のある授業を取るとすごく面白いです。ゲストスピーカーの方が授業してくださる回もあり、とても勉強になります。オフィスの方もとても親切なので、色々と相談できると思います。

・取りたい授業を履修出来なかった場合、聴講することがおすすめ。立命館の先生方は優しくて気さくな方が多いので、聴講したい場合は訪ねてみてください。聴講からでも多くの知識や理解を深めることができるので、履修したかったけどできなかった授業がある場合はぜひ活用してみてください！

・先生とたくさん交流することをお勧めしたいです。

海外で面白い研究や経験をしている先生が多くて楽しいと思います。たまにゼミに参加させてくれたりして他の学生と繋がるきっかけにもなりました！

・レポート・発表が多いので、計画性とグループワーク力が必要だと思います。

★理工学部

・授業理解には予習・復習が欠かせない。教科書だけでなく YouTubeなどの動画配信サービスの活用 を推奨。

理系科目は授業進度が速く理解が追いつかないことがある。

動画は一時停止・繰り返し視聴ができ、教科書で分かりにくい部分も解説してくれる。

特におすすめは「よびのり」チャンネル。難解な表現を避けて分かりやすく解説。

★産業社会学部

労働福祉論、地域福祉論、NPO・NGO論、環境形成論、国際環境対策論、都市論、地域社会論、エスニシティ論、活字メディア論

★国際関係学部

京都文化を体験し、比較文化的な視点を深めることができた。ユニークな授業を受講

「京都学」: 京都の歴史・文化・宗教を多角的に学ぶ

「KYOTO AND THE JAPANESE ARTS」: 芸術作品鑑賞や現場訪問で理解を深めた

お気に入り授業「ジェンダー学」: 実践的かつ率直な議論、タブーのない学びの場

留学へのアドバイス(寮編)

・寮がおすすめ。管理員さんもいるし、RAみたいなRMもいるため、生活に困ったら助けてくれる人が多いです。
1年派遣の場合は、シェアハウスが住みやすいと思います。*寮は契約延長不可

★衣笠キャンパス

・衣笠の寮は便利だが狭め

★びわこ・草津キャンパス(BKC)

・BKCインターナショナルハウス(国際寮)があり、外国人留学生や大学院生が暮らす。
日本人学生は「RM」(APハウスのRAに相当)としてサポート役のみ。外国人比率が高く、英語を使う機会が多いためAPUと同様の国際環境がある。
英語を使う機会が豊富で、自然に英語力が伸びる環境。RMの学生と特に仲良くなり、キャンパスで一緒に昼食をとるなど交流を深められました。

留学生活におけるアドバイスや感想

・通学には、嵐電という路面電車を利用しました。学生なら、定期券も安く買えるし、四条から嵐山まで行けるので、意外と幅広範囲で活用できます。市バスもありますが使うことなく、ほぼ嵐電を使ってました。定期券の申請はAPUからです！事前に担当の方に聞いてみてください。

・バスは遅れることが多かったり、人が多く乗れないこともあるので早めがおすすめです！
大学生活の中で、国内交換留学はとても貴重な経験になると思います！！

・グループワークのある授業や昼休みや授業外で開催されているイベントに参加することがおすすめ。立命館の授業は大講義での授業形態が主流なので、授業内で友達を作るとはAPUと比較して難しいです。なので、グループワークのある授業を履修することで簡単に友達を作ることができます。また、昼休みや放課後に様々なイベントが開かれているのでそれらに参加することで派遣学部以外の学部の人たちとも仲良くなることができます。

・国際関係学部に行く人は学部棟が一番奥にあるので早めに学校に着くようにしていたほうが良いと思います。(学校の門から約10分かかります)

・授業外での活動(学会、インターン)を組み合わせると学びが深まると思います。

・国内交換留学は自分の成長を大きく後押ししてくれる機会だった。

★BKC

・BKC最寄りの南草津駅から京都までは約20分、大阪までは約1時間。休日には気軽に観光を楽しめる立地。
清水寺、貴船、心斎橋、万博公園などを友人と訪問し、学習の合間にリフレッシュできました。